

12月10日(木)フォーラム活動として「企業・行政等施設見学会」を開催しました。みなさま方参加により交流の場を生み出せます。

施設見学は、東京湾の環境改善や環境再生施設などを訪問して、東京湾再生のためのノウハウの共有や現在の東京湾での活動施設の事例をさまざまな立場の方の目で見ることによって情報共有を図り今後の活動の参考として頂くフォーラム交流活動の一つです。

当日は沿岸の公共施設の管理や公共プロジェクト事業へ NPO 等が参加協働している事例を実際に見ることができました。見学会は、事務局も含め 24 名の参加となりました。

東京都「海の森プロジェクト」と「東京都森ヶ崎水再生センター」を見学し、森ヶ崎水再生センターでは、「リトルターン・プロジェクト」の野鳥営巣地施設も見せていただきました。

【海の森プロジェクト】東京都江東区青海 3 丁目地先／まだ正式な住所はありません。東京都港湾局が「市民参加」により植樹を行いました。植樹そのものは、平成 27 年度をもって終了し、現在は、丘陵地の造成が行われています。見学会では、東京都港湾局臨海開発部海上公園課、NPO 法人 樹木・環境ネットワーク協会の皆様に協力を頂きました。



東京都港湾局 臨海開発部 海上公園課 高遠様から説明を受ける参加者



年度ごとに植樹の区画が分けられており、年度プレートが建てられています。



植樹後成長した木々が既に森を形成しています。平成 28 年度に一部開園予定となっています。



海の森では、丘陵地の造成が行われていました。ここは最後の植樹となる箇所です。

【森ヶ崎水再生センター・リトルターンプロジェクト】東京都大田区昭和島 2-5-1

森ヶ崎水再生センター東施設の屋上に「コアジサイ」が巣作りをしていたことから、野鳥営巣地づくり「リトルターン・プロジェクト」が始まりました。現在では、下水道局とNPOの方々が協力して知恵を絞りながら、毎年改善して、コアジサイの巣立ちの増加を手助けしています。

見学会では、東京都下水道局 森ヶ崎水再生センター、東京都下水道サービス株式会社、NPO 法人 リトルターン・プロジェクトの皆様にご協力を頂きました。



NPO 法人 リトルターン・プロジェクトの皆様から営巣地づくりの説明をして頂きました



水再生センター東施設屋上の営巣地。白く見えるのは投入された貝殻（夏の暑さから卵を守るのに役立ちます、営巣率も単なる砂利よりは高い）



営巣地では淡水の水場も設置されています



水再生センター西施設で説明を受ける参加者



水再生センター西施設の第一沈澱池



水再生センター西施設では放流落差を利用して小水力発電も行っています